

新戦術で連覇を狙う

攻撃スタイル進化

連覇を狙う矢板中央は伝統の堅守を継承しつつ、高橋健一監督体制で初めて3-5-2のシステムを取り入れ、攻撃的なサッカースタイルを築き上げてきた。DF佐藤快風は「矢板中央の新たな姿を見せつけて全国に行く」と力を込める。

矢板中央

目指して選手獲得を急いだ結果、13年度に赤字決算、債務超過に陥った。「少なくとも毎年10%ずつは上げ、5年後には4億5千万円を超えるレベルにいかないと生き残れない」。橋本社長も必要性を強調していた強化費拡充。親会社を持たない市民クラブは、J3再降格でチーム強化策の抜本的な見直しを迫られている。

背番号	氏名	学年	身長	体重
1	藤井 大	3	183	76
2	山田 平	3	178	76
3	佐藤 快	3	178	74
4	山田 平	3	175	67
5	山田 平	3	174	69
6	山田 平	3	168	67
7	山田 平	3	176	68
8	山田 平	3	174	71
9	山田 平	3	166	60
10	山田 平	3	155	59
11	山田 平	3	176	71
12	山田 平	3	166	60
13	山田 平	3	155	59
14	山田 平	3	176	71
15	山田 平	3	166	60
16	山田 平	3	155	59
17	山田 平	3	176	71
18	山田 平	3	166	60
19	山田 平	3	155	59
20	山田 平	3	176	71



選手権の部男子500mで激しく競り合う弟由暉(左)と兄朋暉の木村兄弟。今市青少年スポーツセンター

双子の兄弟、一騎打ち。選手権の部男子は双子の木村朋暉(宇都宮白楊高)、由暉(同)兄弟の一騎打ち。500m、1500mで2冠の朋暉は「兄の威嚇は保てたかな」と笑った。

森保J、きょうインドネシア戦 サッカーW杯最終予選 【ジャカルタ共同】サッカーの2026年ワールドカップ(W杯)北中米3カ国大会アジア最終予選は15日午後7時(日本時間同9時)からジャカルタでC組第5戦が行われ、世界ランキング15位の日本代表は同130位のインドネシア代表と対戦する。チームは14日に試合会場で最終調整し、冒頭部では久保(レアール・ソニエタード)らがボール回しなどを行った。

「速度」

クラブ 沈んだ23年シーズンのチーム人件費は3億1600万円。当時のJ2全22チームで下から4番目だった。思い切った強化費増に踏み切れないのは、苦い記憶があるからだ。J1昇格を

目指して選手獲得を急いだ結果、13年度に赤字決算、債務超過に陥った。「少なくとも毎年10%ずつは上げ、5年後には4億5千万円を超えるレベルにいかないと生き残れない」。橋本社長も必要性を強調していた強化費拡充。親会社を持たない市民クラブは、J3再降格でチーム強化策の抜本的な見直しを迫られている。

15歳土屋(那須)初優勝

2位松枝(下野)、3位大森(佐野)



優勝カップを受け取る土屋(右)

【第20回県女子アマチュア選手権大会】

順位	氏名	所属	スコア
1	土屋 那須	那須	74(36, 38)
2	松枝 未倅	下野	74(38, 36)
3	大森 未来	佐野	75(37, 38)
4	藤崎 沙羅	高根	77(40, 37)
5	小宮 陽子	高根	77(37, 40)
6	柿沼 陽子	埼玉	79(41, 38)
7	片岡 愛彩	芳賀	79(36, 43)
8	林 美由樹	宇都宮	80(42, 38)
9	荒川 浩枝	〃	80(41, 39)
10	島井 千代子	〃	81(40, 41)
11	村田 瑠々子	〃	81(41, 40)
12	松本 大加子	〃	82(41, 41)
13	松本 大加子	日光	83(40, 43)
14	高野 裕子	鹿沼	84(42, 42)
15	渡辺 行夏	足利	84(43, 41)
16	小野 崎珠美	矢板	85(42, 43)
17	戸澤 聖美	宇都宮	85(43, 42)
18	前嶋 直子	〃	86(46, 40)
19	松草 春香	埼玉	86(41, 45)
20	荒井 和子	宇都宮	87(42, 45)

2年松枝未倅(下野)が74で並んだが、大会規定(カウント・バック方式)で土屋が優勝となった。1打差の3位は佐野日大高1年大森未来(佐野)が食い込んだ。連覇を狙った秋山ミイ(宇都宮)は89で29位に終わった。

歳以上のグラウンドシニアの部(4975名)の4部門によってティエグラウンド(距離)が変わる方式を採用。快晴微風と絶好のコンディションの中、58人が熱戦を展開した。土屋と県知事盃一般女子の部優勝の宇都宮文星女高

唯一のパティエーが効いて、大会規定(カウント・バック方式)で優勝を果たした土屋オードリー(那須)

パットさせて踏ん張る。18番パー4でこの日大会(県ゴルフ連盟、下野新聞社主催)は14日、那須烏山市の風月CC(6930m、パー72)で一般男子の部を行い、グロスの部は那須塩原が連覇を狙う鹿沼を抑え、450で制した。大会には17チームが参加し、1チーム7人編成で上位6人の合計で争った。

一般男子の部 那須塩原制す

県支部対抗ゴルフ 第36回県支部対抗ゴルフ大会(県ゴルフ連盟、下野新聞社主催)は14日、那須烏山市の風月CC(6930m、パー72)で一般男子の部を行い、グロスの部は那須塩原が連覇を狙う鹿沼を抑え、450で制した。大会には17チームが参加し、1チーム7人編成で上位6人の合計で争った。



那須塩原は菊地諭史が72でチームを引っ張り、7人全員が70台をマークして鹿沼に4打差をつけた。3位

グロスの部優勝の那須塩原は大田原。ネットの部は栃木が制した。ベストグロスは鈴木貴士(宇都宮)が3アンダー69の好スコアで輝いた。

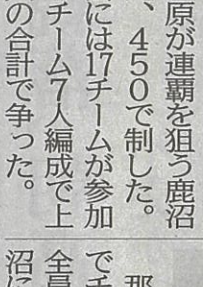
ネットの部 ①栃木(大嶋潤) 甲斐康弘、原典男、星潤延、田谷英俊、大類全裕、松本和也、437、日光439、4・3高根沢440・6

費 19位に 経営に 順調に 分金は 24年 200 100 去最高 Cは23 円に。 昨季、 プに支

橋本SCの2023年度決算について記者会見で説明する橋本社長(4月25日、カンセキスタジアムとちぎ)



松枝未倅



大森未来